



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2026/8/9 Rd-8 スポーツランド SUGO

天候：晴のち曇 気温：27℃ 出走台数：24 台

観客数：8 日(土)6,400 人 9 日(日)10,600 人 合計 17,000 人

晴天の朝を迎えた決勝日のスポーツランド SUGO。しかし、スタートを迎える時点で厚い雲と冷たい風を感じる天候に。レース途中の雨も心配される中、51 週の決勝レースがスタートした。

1 コーナーでオーバーシュートするライバルもいる中、太田選手 2 番手、牧野選手 4 番手のポジションキープでオープニングラップを周回。

共に先行車にプレッシャーをかけながら 1～1.5 秒差の膠着状態でピットウィンドウオープンの 13 周目を迎える。

チームは 14 周目に牧野選手をピットに呼び、これで牧野選手はタイヤ交換組の首位へ。しかし後方グループに追いついてしまいペースを上げられない。

膠着状態からライバルに先行して動いた太田選手は 20 周目にピットへ。

翌周にピットインした野尻選手にアンダーカットを仕掛けたが届かず、この時点で太田選手はタイヤ交換組の 2 番手、牧野選手は 3 番手を走行。まだタイヤ交換を行っていないフラガ選手とのタイム差を削るべくプッシュを続けた。

27 周目に 2 台がコースアウトしたことでセーフティカー (SC) が導入されると、フラガ選手がピットイン。しかも、福住選手と岩佐選手は SC ランで各車がスロー走行している

28 周目にピット作業を終えたことで、太田選手は 5 番手、牧野選手は 6 番手になってしまふ。レースは 36 周目にリスタート。太田選手は野尻選手を抜き 4 番手に浮上するがここので、太田選手 4 位。牧野選手は 6 位でレースを終えた。

5：牧野任祐 選手 6 位

これまでとは違ったコンセプトのセッティングで菅生に臨みました。

フィーリングはよく、新たな知見も得られましたが、決勝セットはやや行き過ぎてしまい、後半苦しかったです。トップグループにはまだ届いていない感じですが、今回得られたデータを後半戦に生かして、シーズンを挽回したいですね。

6：太田格之進 選手 4 位

決勝ペースは良くて、オーバーテイクでも競り勝つことが出来、展開次第では 2 位、または優勝のチャンスもあったレースだったので、SC のタイミングに影響される結果となってしまったのは残念でした。

しかし、苦手意識のあった SUGO で十分なパフォーマンスを感じる事が出来た事は自信にもつながりましたし、牧野選手と共にチーム全体で取り組んで後半戦を戦いたいと思います。